

## 令和4年度 山鹿中学校のスタートに向けて

こんにちは

山鹿中学校3年目になります校長の藤島浩一(59才)です。ここ数年、このような形でのご挨拶となり、とてもさみしい気持ちでいっぱいですがよろしくお願いします。



さて、4月8日(金)に始業式、4月11日(月)に入学式を行いました。始業式では、生徒達の新学期に向かう意気込が話を聞く姿勢や瞳の輝きから強く感じることができました。その姿がとっても嬉しかったし、確かな成長を感じました。だからこそ私たち職員も生徒達に負けない思いを持ち、身のしまる思いで襟を正していました。話の内容は、昨年度、多くの学校行事や委員会活動、また、授業や部活動等での友達との関りから友達のよさに気がついたり、協力する意味や話合う必要性を感じたり、さらには達成感からの喜びや感謝する心も学び得てきたこと。その力を新年度において発揮してほしい。一人一人のその力をクラスで束ね、大きな力として推し進めてほしい。更なる成長や学びをみんなで味わってほしい。と伝えています。そのためには、基本的な生活習慣(睡眠、食事、運動)を徹底させる

ことである。と伝えています。

また、入学式でも新1年生の堂々とした姿での入場や参加している姿から夢や希望を抱き頑張ろうとする意欲を強く感じたところでした。そんな姿を見ると我が子のようにいとおしく思うと同時に、命を守り、生き抜く力を育み、様々な挑戦等の経験を通して逞しく育ってほしいと思っています。

そして、職員に対しても以下のお願いをし、取り組んでいくことを年度初めに確認をしています。

私は、職員82名に「信頼関係を軸として子どもたちや保護者の方々に関わっていくこと。」「信頼という軸を持ちこの軸から手を離さないで関わっていくこと。」「つまり、信頼を築き上げるという姿勢を持ち対応をしていくこと。」をお願いし、確認しています。

信頼を得るためには、優しいとか物分かりがよいというだけでは信頼を得ることはできません。なによりも子どもたちの立場で、子どもたちの成長を願い、あきらめずに子どもたちと向か合う姿勢です。その姿勢のもとで子どもたちを我が子であつたらと考え向き合うことで信頼の芽が生まれ成長(深まっていきます)していきます。その信頼関係により、子どもたちは活気あふれる姿で日々の生活を過ごすことができると確信しています。山鹿中学校82名の職員で精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしく申し上げます。

山鹿市立山鹿中学校 校長 藤島浩一